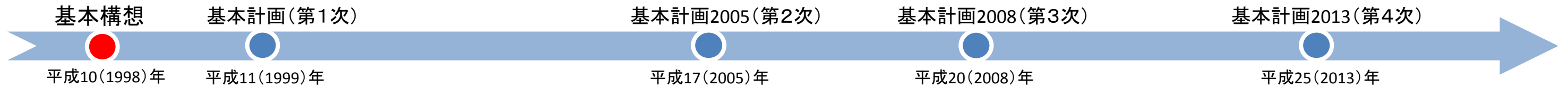


「中央区基本構想」に基づいたこれまでの取組について



中央区基本構想(平成10(1998)年策定)

【中央区の将来像】 生涯躍動へ 都心再生－個性がいきる ひととまち

1 100万人が住み・働き・楽しめるまち中央区

思いやりのある安心できるまち

生涯をいきいきと暮らすために

健やかな子どもを育むために

思いやりとふれあいのあるまちのために

2 都心コミュニティが息づくまち中央区

うるおいのある安全で快適なまち

住みやすい環境づくり

地球にやさしい環境づくり

都心にふさわしい都市の基盤づくり

3 個性豊かなまち中央区

にぎわいとふれあいのある躍動するまち

にぎわいと活力のある産業のまちづくり

いきいきと学び豊かな個性を育むまちづくり

文化の香る交流のまちづくり

基本計画(第1次)

安心・快適・躍動'99

- 保健衛生施設の整備
老人保健施設の整備
- 福祉推進基盤の整備
知的障害者生活支援施設の整備
- 在宅福祉の充実
日帰り介護の充実
- 保育・育成環境の充実
保育園の改築
- 公共住宅の供給の促進
区立・区営住宅の供給
- リサイクルの推進
資源化施設の整備
- 良好なまちづくり
まちづくり支援事業制度の運用
- 企業活動の活性化・近代化支援
商工業融資制度の拡充
- 良好な教育環境の整備
情報教育の推進
- コミュニティ活動の支援
温浴施設の整備

基本計画2005(第2次)

【政策課題1】

生涯躍動社会の実現

- 次世代の育成と教育改革の推進
人口増加への対応
子育て支援のネットワークづくり
多様な選択が可能となる教育改革
- 生涯を通じて活躍できる社会づくり
一貫性、連続性のある健康づくりと介護予防の推進
地域を超え、多世代が交流できる社会づくり
すべての世帯が安心して生活できる仕組みづくり

【政策課題2】

世界に誇れる風格と気品のあるまちづくり

- 環境と調和した21世紀をリードするまちづくり
都心の核となるプロジェクトの推進
快適な都心居住の推進
- 商工業のまちの活性化
新たな都心型産業の振興
都心回遊型観光の振興
- 安全・安心で美しいまちづくり
多様な危機管理の強化
犯罪のない美しいまちづくり

基本計画2008(第3次)

「遊・職・住」世界へ発信－中央区

- 子どもが輝く子育て・教育のまちづくり
「待機児ゼロ作戦」の展開
良好な教育環境の整備(校舎改築等)
- すべての人々の健康と高齢者のいきがいのあるまちづくり
若年からの生活習慣病対策の推進
「70歳就労社会」の実現
障害者就労支援センターの充実
- 歴史と先進性をいかした集いのにぎわいのあるまちづくり
特色ある地域商店街づくり
日本橋および東京駅前地区のまちづくり
- 地球にやさしい水と緑のまちづくり
環境意識の普及・啓発
省エネルギー・省資源化の推進
「水の都 中央区」の再生
- 地域ぐるみの安全・安心まちづくり
高層住宅防災対策の推進
住まいや建築物の建替え・改修促進
防犯知識の普及・啓発

基本計画2013(第4次)

－未来へ紡ぐ「快適都心」中央区－

- 災害に強い都心のまちづくり
防災拠点運営体制の支援
帰宅困難者対策の推進
- 子どもが輝く子育て・教育のまちづくり
機動的な保育所整備の推進
子どもの居場所づくりの推進
新たなニーズに対応した学校施設の整備
- すべての人々の健康と高齢者のいきがいのあるまちづくり
若年からの生涯を通じた健康づくりの推進
在宅系サービス拠点、特別養護老人ホーム等の整備
子ども発達支援センターの整備
- 地球にやさしい水と緑のまちづくり
「中央区の森」の森林保全活動
区有施設における再生可能エネルギー導入推進
- 歴史と先進性を生かしたにぎわいのあるまちづくり
観光拠点施設の整備・運営
臨海部と都心部を結ぶ基幹的交通システムの導入
築地市場移転後の活気とにぎわいづくり

中央区将来人口の見通しについて 平成28(2016)年 1 月推計

1 推計条件

ア 推計期間

平成29（2017）年から平成53（2041）年までの25年間。
11年目の平成39（2027）年以降は3パターン（高位、中位、低位）の仮定を用いた参考推計。

イ 推計方法

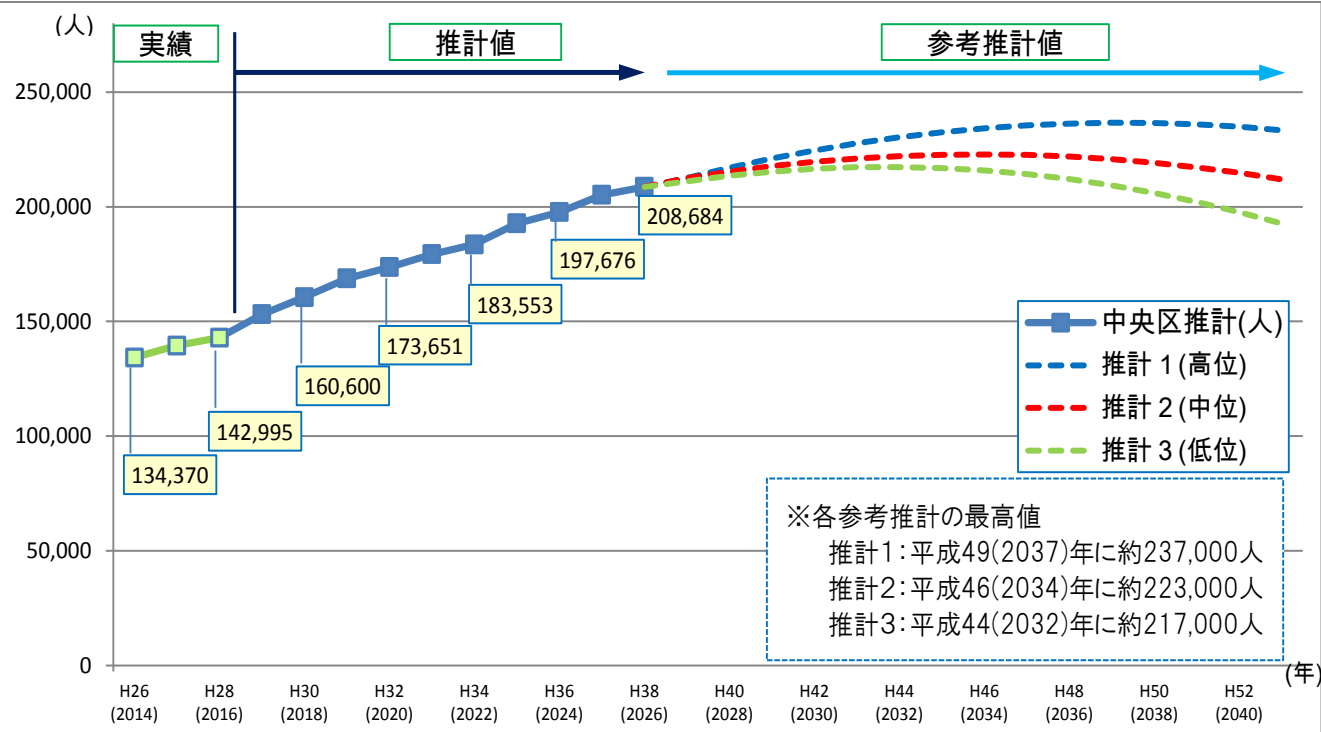
- 平成28（2016）年1月1日の住民基本台帳人口を基準とし、以下を基に今後25年間の人口を推計。
- ・0歳児数：地域別子ども女性比により算出。出生数の代替として使用。
 - ・生残率：年齢別・男女別。国立社会保障・人口問題研究所の数値。
 - ・移動率：開発分を除いた直近2年間の転出入による人口変動割合。
 - ・開発による増加分：50戸以上の住宅開発により見込まれる転入者数を加算。
 - ・五輪選手村の住宅転用による増加分約11,000人を平成35（2023）年から平成38（2026）年に加算。
 - ・外国人人口：平成28（2016）年1月1日時点の5,547人が年齢性別など一定と仮定して加算。

◎11年目以降の参考推計に用いた仮定条件

- 推計1（高位）：自然増減、社会増減、開発の傾向が平成49（2037）年まで続き、以後は減少に転じる推計。
推計2（中位）：自然増減、社会増減、開発の傾向が平成46（2034）年まで続き、以後は減少に転じる推計。
推計3（低位）：自然増減と開発の傾向が平成44（2032）年まで続き、以後は減少に転じる推計。

2 推計結果

＜総人口の推計、参考推計＞



＜今後10年間の中央区人口＞

	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)	H36 (2024)	H37 (2025)	H38 (2026)
中央区人口	142,995	153,110	160,600	168,732	173,651	179,266	183,553	192,779	197,676	205,176	208,684

本区人口は、自然増減、社会増減、開発などの傾向が今後も続いた場合、平成28（2016）年内に15万人、平成36（2024）年内に20万人を突破する見込みである。

3 地域別・年齢区分別人口

＜今後10年間の地域別人口＞

	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)	H36 (2024)	H37 (2025)	H38 (2026)
京 橋	人口 34,997 構成比 24.5%	35,763 23.3%	36,574 22.8%	38,457 22.8%	39,140 22.5%	39,641 22.1%	40,107 21.8%	40,553 21.0%	40,979 20.7%	41,380 20.2%	41,760 20.0%
日本橋	人口 44,209 構成比 30.9%	46,531 30.4%	48,563 30.2%	51,128 30.3%	53,266 30.7%	54,461 30.4%	55,603 30.3%	56,704 29.4%	57,772 29.2%	58,793 28.6%	59,777 28.7%
月 島	人口 63,789 構成比 44.6%	70,816 46.3%	75,463 47.0%	79,147 46.9%	81,245 46.8%	85,164 47.5%	87,843 47.9%	95,522 49.6%	98,925 50.1%	105,003 51.2%	107,147 51.3%

＜今後10年間の年齢区分別人口＞

	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)	H36 (2024)	H37 (2025)	H38 (2026)
年少人口 (15歳未満)	人口 17,635 構成比 12.3%	19,177 12.5%	20,520 12.8%	21,924 13.0%	23,075 13.3%	24,505 13.7%	25,668 14.0%	27,306 14.2%	28,553 14.4%	30,005 14.6%	30,923 14.8%
生産人口 (15～64歳)	人口 102,227 構成比 71.5%	110,133 71.9%	115,828 72.1%	122,163 72.4%	125,626 72.3%	129,441 72.2%	132,114 72.0%	139,181 72.2%	142,436 72.1%	147,759 72.0%	149,826 71.8%
高齢人口 (65歳以上)	人口 23,133 構成比 16.2%	23,800 15.6%	24,252 15.1%	24,645 14.6%	24,950 14.4%	25,320 14.1%	25,771 14.0%	26,292 13.6%	26,687 13.5%	27,412 13.4%	27,935 13.4%

4 今後10年間の0歳児数見込み

	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)	H36 (2024)	H37 (2025)	H38 (2026)
中央区 0歳児数	1,876	2,026	2,109	2,183	2,194	2,231	2,224	2,335	2,333	2,389	2,350
京 橋 地 域	396	395	397	410	408	405	401	393	385	372	364
日本橋 地 域	597	625	643	669	685	681	676	667	654	638	623
月 島 地 域	883	1,006	1,069	1,104	1,101	1,145	1,147	1,275	1,294	1,379	1,363

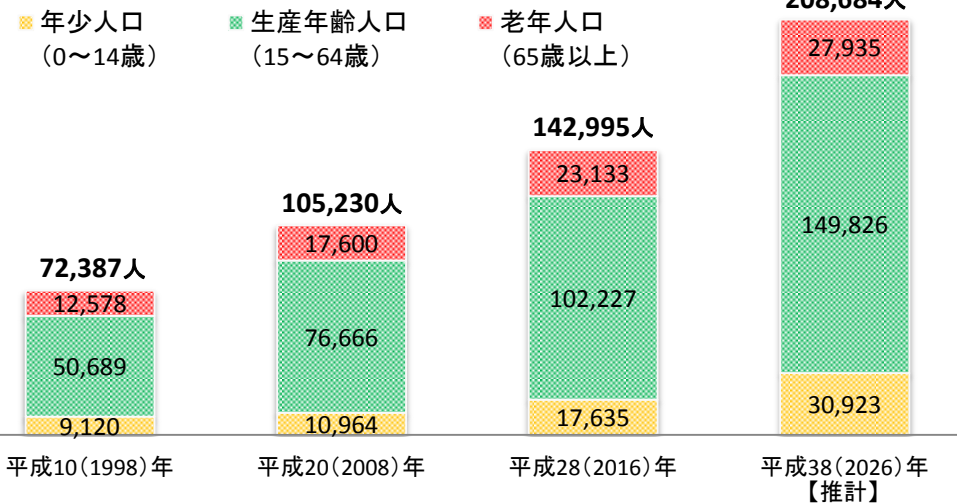
中央区を取り巻く状況と今後の検討課題について

人口増加

この20年弱の間に、本区の総人口は約2倍に増加。平成36(2024)年内に20万人を突破する見込み

<中央区の人口推移>

※各年1月1日時点

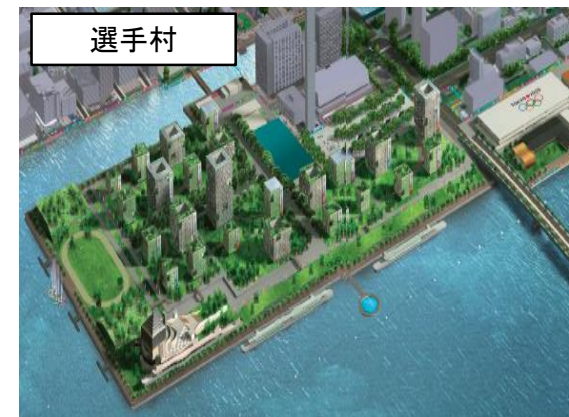


- 保育所の整備など子育て支援策の一層の充実
- 幼児・子どもの遊び場や広場の確保
- 児童・生徒数増加に対応した教育環境の整備
- 障害のある方へのライフステージに応じた切れ目のない支援
- 医療・介護・住まい等が一体となった地域包括ケアシステムの構築
- 今後の人口動向を見据えた公共施設のあり方検討
- 新旧住民間の交流による地域コミュニティの形成

オリンピック・パラリンピック開催

晴海地区に選手村が整備。大会終了後には約6,000戸の住宅に生まれ変わる予定

- 晴海地区における公共・公益施設の整備と交通利便性の向上
- 国内外からの来訪者の受入体制の整備と都市観光の推進
- 誰もがスポーツに親しめる機会の創出
- グローバル時代の担い手となる人材の育成
- 大会レガシー（未来に引き継がれる区民の財産）の活用



立候補ファイル（招致委員会 H25(2013).1.7提出)



「2020年に向けた東京都の取組」(H27(2015).12.22)

安全・安心への意識の高まり

東日本大震災の教訓等を踏まえた取組

- 「自助」「共助」を中心とした地域ぐるみの防災力・防犯力の向上
- 地域の活動団体への支援、関係機関との連携の強化
- 住宅・建築物の耐震化の推進
- 高層住宅および事業所における防災対策の推進
- 防災センターの設置など災害対策本部機能の強化

新たな社会潮流への対応

平成28(2016)年11月築地市場移転 など

- 築地市場跡地など活気とにぎわいのある商業のまちの形成
- 環境にやさしいスマートシティの実現
- 都心区の強みを活かした「地方創生」への貢献
- 区民、企業、NPOなど多様な「公共」の担い手との連携
- ICTの活用による社会的課題への対応